

2024年9月期決算 会社説明会（2024年11月25日開催）における主な質疑応答

（登壇者：代表取締役社長 CEO 椋梨 敬介、執行役員 企画統括本部長 古堂 達也）

※すべての質問に対して椋梨が回答

No	質問内容	回答
1	<p>次期中期経営計画（以下、次期中計）におけるオーガニック、インオーガニック分野への投資の方向性について教えてほしい。</p>	<p>オーガニック分野は、九州を中心とする半導体産業や瀬戸内の化学コンビナートを中心としたカーボンニュートラルへの取り組みにおいて、資金需要が旺盛であるため、このような地元産業の成長支援や産業転換にアセットを積み増していきたい。</p> <p>インオーガニック分野への投資に関して、次期中計では「事業成長支援」「地域共創」「資産サポート」を軸とし、「地域課題解決のプラットフォーマー」となることを目指している。その実現に向けて、当社グループで不足している機能を補完・獲得するため、外部企業との連携・提携は重要な手段であると考えており、幅広く検討していく。</p>
2	<p>大企業や首都圏、都市部の中堅中小企業は資金需要が顕著だが、山口県はどうか。</p> <p>また、インバウンドを含めダイレクトに資金需要に結びつくような話はあるのか。</p>	<p>中小企業を含めて資金需要は底堅く推移している。特に、大手企業のサプライチェーンに属する中堅以上の企業において資金需要が出てきている。</p> <p>一方で、中小零細企業においては、人材不足やデジタル化への対応などの経営課題も表面化してきており、地域企業のこうした経営課題を解決することが地域経済の発展につながるとの認識のもと、次期中計の策定を進めている。</p> <p>また、広島県や福岡県ほどではないものの、インバウンドは増加している。今後、特に宿泊関連業では設備投資が見込まれ、そうした資金需要にしっかりと応えていく。</p> <p>そして、当社グループが長門湯本温泉（山口県長門市）で既に取り組んでいるように、融資だけでなくファンドによる投資なども組み合わせて支援を行うなど、同じ船に乗って取引先企業の課題解決に踏み込んでいくべきだと考えている。</p>
3	<p>ドリーム・インキュベータへの出資を通じて得られた成果は何か。</p> <p>また、リテール分野において新たな企業に出資する可能性はあるか。</p>	<p>ドリーム・インキュベータ社とは頻繁にミーティングを実施しており、今後の方向性などについて話し合っているが、地域や地域企業の課題解決に資する新たなケイパビリティが当社グループに加わったと考えている。</p> <p>詳細は差し控えるが、既に複数の外部パートナーと連携して次期中計におけるリテールビジネスの構造改革に着手している。インオーガニック投資による機能拡張も一つの手段として幅広く検討していきたい。</p>
4	<p>預金の重要性が増す中、粘着性のある預金を獲得するために、具体的にどのような戦略をとっていくのか。</p>	<p>ゼロ金利時代における発想を転換し、預金獲得に向けた動きを加速させる必要があると考えている。</p> <p>地元エリアでは、法人取引における決済性預金の増強に向けて、取引メイン化や機能取引の拡充などに取り組むことで、取引先従業員との個人取引強化にもつなげていく。</p> <p>こうした活動に加えて、北九州銀行ではお客さまとのタッチポイントを増やすために、先日発表した「コンビニ ATM 手数料の無料化」や「宝くじ付定期預金」などを組み合わせ、粘着性の高い預金を獲得していく方針。</p> <p>さらに、次期中計ではリアルとデジタルを融合させ、従来とは異なる形で店舗網の再構築を図る必要があると考えている。店舗の利便性やお客さまへ提供する付加価値を向上させていくことで、預金を集める基盤の見直しを図っていきたい。</p>

2024年9月期決算 会社説明会（2024年11月25日開催）における主な質疑応答

（登壇者：代表取締役社長 CEO 棕梨 敬介、執行役員 企画統括本部長 古堂 達也）

※すべての質問に対して棕梨が回答

No	質問内容	回答
5	nCino(エヌシーノ)は海外企業のサービスだが、国内企業のサービスと比べて、どのような点が優れているのか。特徴的なことがあれば教えて欲しい。	<p>国内において、同サービスを住宅ローン業務で本格導入している地域金融機関はまだないという認識だが、海外ではBank of America や Wells Fargo などの大手金融機関で導入されている。</p> <p>私自身もアメリカに赴き、実際に導入している銀行の首脳陣と話をしたうえで、同サービスの導入検討を進めた。</p> <p>同サービスはデジタルプラットフォームであり、一切紙を使用する必要がないという点が大きな特徴。従来の住宅ローン業務のフローが大きく変わることで、生産性の大幅な向上が見込まれる。</p>
6	自己資本比率について、Tier II 資本をどの程度持つべきと考えているか。	<p>バーゼルⅢにおいて、Tier II 資本はリスクアセットの 2% を上限として、自己資本に含めることが認められている。</p> <p>当社は約 5 兆円のリスクアセットを有しているため、そのうちの 2%、金額にして約 1,000 億円を上限として、効率的な資本構成に向けて取り組んでいく。</p>